



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成28年1月29日

上場会社名 かどや製油株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2612 URL <http://www.kadoya.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小澤 二郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理部長 (氏名) 戸倉 章博 TEL 03-3492-5545
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	20,626	15.2	1,334	52.4	1,984	56.9	1,277	63.4
27年3月期第3四半期	17,897	7.4	875	△38.3	1,264	△22.1	781	△17.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	135.89	—
27年3月期第3四半期	83.11	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	26,597	21,584	81.2	2,296.25
27年3月期	26,777	20,846	77.9	2,217.75

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 21,584百万円 27年3月期 20,846百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
28年3月期	—	0.00	—		
28年3月期（予想）				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年3月期の業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,500	6.0	1,200	47.9	1,750	7.9	1,100	15.0	117.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	9,400,000株	27年3月期	9,400,000株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	224株	27年3月期	179株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	9,399,797株	27年3月期3Q	9,399,821株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

尚、上記予想に関する事項は添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、円安や原油安の影響により、また政府の経済政策により、企業収益は改善し、回復基調が続いております。一方、世界経済では中国の景気減速や中東情勢をめぐる懸念等もあり、今後の動向は先行不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、年明けより円高基調になりつつありますが、輸入仕入価格の上昇や円安等により企業収益は圧迫されております。仕入価格の上昇に対して、企業努力による経費削減だけでは対応できず、製品価格に転嫁せざるを得ない状況となっており、食品業界を取り巻く環境は、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社は適正価格による販売を行うため、ごまの持つ機能性や用途の多様性について、若年層をターゲットとしたSNS配信による訴求活動等を行いました。健康イメージオイルのブームも追い風となり、家庭用ごま油を中心に特売が増え、その結果、今期のごま油の販売数量は前年同期比10.1%増、食品ごまは前年同期比で微減となりました。また売上高は、数量・価格とも前年を上回り前年同期比15.2%増となりました。

コスト面では、委託加工費や燃料費の減少等があったものの、販売数量増加による処理量が増えたことや修繕費および支払保管料等の増加により、製造原価が増加し、売上原価は前年同期比10.5%増となりました。

一方、販売費及び一般管理費は、家庭用ごま油等の拡販により拡売条件費等の販売経費が増加し前年同期比21.9%増となりました。

この結果、売上高は20,626百万円(前年同期比2,728百万円増)、経常利益は1,984百万円(前年同期比720百万円増)、四半期純利益は1,277百万円(前年同期比496百万円増)となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

①ごま油事業

ごま油事業におきましては、同業他社の値上げにより当社との価格差が縮まったことにより、利益率が高い家庭用ごま油を中心に拡販を行いました。その結果、ごま油の販売数量および販売高は前年を上回りました。

また、原料購入価格は前期より低下しつつありますが、前期に仕入れた高い原料価格の仕掛品や製品在庫の影響もあり、原価は前期を上回る状況であります。

こうした環境下において、当社は、生産能力強化の一環として充填設備の新設等を行っております。

以上の結果、売上高は16,960百万円(前年同期比2,522百万円増)、セグメント利益は1,109百万円(前年同期比492百万円増)となりました。

②食品ごま事業

食品ごま事業におきましては、業務用ねりごまではコンビニ惣菜向けの販売数量落ち込み等があったものの、ごまの風味を生かした坦々ごま鍋等、季節商品の提案活動等を行った結果、販売数量はほぼ前年と同水準になり、売上高は値上げの影響により前年を上回りました。

また、売上原価はごま油同様、前年を上回る状況であります。

こうした環境下において、当社は、ねりごまの用途の多様性や潜在需要に着目し、新製品開発を行っております。

以上の結果、売上高は3,655百万円(前年同期比199百万円増)、セグメント利益は219百万円(前年同期比36百万円減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の資産につきましては、前期末に比べ179百万円減少しました。これはたな卸資産が2,116百万円および売掛金が522百万円増加したものの、現金及び預金が2,763百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前期末に比べ917百万円減少しました。これは流動負債のその他が533百万円増加したものの、買掛金が1,362百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前期末に比べ737百万円増加しました。これは繰延ヘッジ損益が243百万円減少したものの、四半期純利益1,277百万円計上及び配当金の支払い375百万円により利益剰余金が901百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月14日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,218	3,454
売掛金	5,614	6,136
商品及び製品	1,162	1,252
仕掛品	1,154	897
原材料及び貯蔵品	5,308	7,591
その他	833	425
流動資産合計	20,291	19,758
固定資産		
有形固定資産	4,403	4,658
無形固定資産	20	30
投資その他の資産	2,062	2,150
固定資産合計	6,485	6,839
資産合計	26,777	26,597
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,297	1,935
未払法人税等	403	374
賞与引当金	178	92
役員賞与引当金	45	39
その他	1,147	1,681
流動負債合計	5,072	4,123
固定負債		
退職給付引当金	754	779
資産除去債務	74	70
長期未払金	28	19
その他	—	20
固定負債合計	857	890
負債合計	5,930	5,013
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,160	2,160
資本剰余金	3,082	3,082
利益剰余金	14,778	15,679
自己株式	△0	△0
株主資本合計	20,020	20,922
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	555	636
繰延ヘッジ損益	269	25
評価・換算差額等合計	825	662
純資産合計	20,846	21,584
負債純資産合計	26,777	26,597

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	17,897	20,626
売上原価	12,855	14,209
売上総利益	5,042	6,416
販売費及び一般管理費	4,167	5,082
営業利益	875	1,334
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	18	93
為替差益	366	545
雑収入	10	16
営業外収益合計	396	656
営業外費用		
支払手数料	4	4
雑損失	3	1
営業外費用合計	7	6
経常利益	1,264	1,984
特別損失		
固定資産除売却損	13	20
特別損失合計	13	20
税引前四半期純利益	1,250	1,963
法人税、住民税及び事業税	448	680
法人税等調整額	20	5
法人税等合計	468	686
四半期純利益	781	1,277

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,250	1,963
減価償却費	372	389
その他の償却額	1	1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△91	△85
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△23	△6
退職給付引当金の増減額(△は減少)	46	24
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
受取利息及び受取配当金	△20	△94
支払手数料	4	4
為替差損益(△は益)	△3	△6
有形固定資産除売却損益(△は益)	13	20
売上債権の増減額(△は増加)	△875	△522
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,257	△2,116
その他の資産の増減額(△は増加)	△117	64
仕入債務の増減額(△は減少)	△232	△1,362
その他の負債の増減額(△は減少)	54	44
小計	△1,878	△1,681
利息及び配当金の受取額	68	218
支払手数料の支払額	△5	△5
法人税等の支払額	△553	△713
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,369	△2,182
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△144	△214
無形固定資産の取得による支出	—	△1
有形固定資産の売却による収入	0	0
有形固定資産の除却による支出	△2	△9
資産除去債務の履行による支出	—	△4
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
貸付金の回収による収入	1	1
保険積立金の積立による支出	△21	△2
保険積立金の解約による収入	16	28
その他	△14	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△168	△205
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△469	△375
財務活動によるキャッシュ・フロー	△469	△375
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,007	△2,763
現金及び現金同等物の期首残高	7,912	6,203
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,905	3,439

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合 計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
外部顧客への売上高	14,437	3,455	17,893	4	17,897
計	14,437	3,455	17,893	4	17,897
セグメント利益	617	256	873	1	875

(注) 1. 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	873
「その他」の区分の利益	1
四半期損益計算書の営業利益	875

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合 計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,960	3,655	20,615	10	20,626
計	16,960	3,655	20,615	10	20,626
セグメント利益	1,109	219	1,329	4	1,334

(注) 1. 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,329
「その他」の区分の利益	4
四半期損益計算書の営業利益	1,334

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。